

コミュニケーション・オン・プログレス (COP)

基本書式

貴社COPの対象期間:

2020.2月

～

2021.2月

1. 最高経営責任者による継続的支持の表明 (小規模事業者の場合は企業オーナーあるいは社長による表明)

以下の枠内に、貴社の最高経営責任者が署名した継続的支持の声明を記載してください。

ステークホルダーの皆様へ

私は、ここに内野株式会社が、国連グローバル・コンパクトの人権・労働・環境および腐敗防止に関する10原則を支持することを、再度表明します。

当社は創業から現在まで、常にお客様の満足が第一という強い信念を持ち、独自の技術で開発した、高品質な素材を用いた商品展開を行っています。また、人々が健康で快適に過ごせるような、ライフスタイルをデザインする企業として日本国内はもとより世界中にネットワークを広げ、グローバルニッチトップ企業への更なる成長を目指しています。

当社は、「顧客の利益は会社の利益を生み、社員の利益と社会の利益に還元される」という理念のもと国連グローバル・コンパクトへの署名やSDGsに関わる取り組みを通じ、持続可能な世界の実現に向けて今後もより一層の努力を続けていきます。

この年次のコミュニケーション・オン・プログレスにおいて、その取り組みについてご報告いたします。また、当社の主要なコミュニケーション媒体を通じて、当社の取り組みを積極的に、ステークホルダーの皆様へ紹介してまいります。

代表取締役 内野信行

2. 取り組み状況

人権

以下の枠内に、人権の分野において貴社が行ってきた取り組みについて記載してください。

1. 健康促進に貢献する、製品の開発と提案を行います。
 - ・当社のマシュマロガーゼパジャマは、「97%の方が快眠を実感」というエビデンスを取得しています。
 - ・今後も、「快眠=UCHINO」を打ち出し、快眠や健康につながる開発と提案を強化していきます。
2. 被災や疾病などに苦しむ人々を支援します。
 - ・震災や台風などの被害により、通常の生活が困難になってしまった地域や、疾病や貧困により生活の質が低下している方などを支援する団体や企業に対し、長年にわたり製品の寄付などによって支援しています。

労働

以下の枠内に、労働の分野において貴社が行ってきた取り組みについて記載してください。

1. 不当な労働環境のもとで製品を作りません。
 - ・生産を委託している全ての製造工場及び全てのサプライチェーンに対し、さまざまな差別や児童労働、不当な雇用、不当な環境下での労働が行われないように指導し、外部機関による定期的な監査を実施していきます。
2. 女性の働きやすい環境を目指します。
 - ・お客様の多くは女性であり、お客様と立場に近い女性を、役職者として積極的に登用していきます。
 - ・女性が安心して働ける環境を整え、全社をあげて女性の活躍を推進します。

環境

以下の枠内に、環境の分野において貴社が行ってきた取り組みについて記載してください。

1. サステナブルコットンの使用比率100%を目指します。
 - ・環境や社会に配慮したサステナブルな原材料への転換を推進しています。すでに主力商品である、マシュマロガーゼやしあわせタオルなどには、アメリカやオーストラリア産のサステナブルコットンを使用していますが、今後はさらに使用比率を高め、UCHINOブランドの製品においては、サステナブルコットンの使用比率を2025年末に70%、2030年末に100%にすることを目指します。
2. 環境に配慮した経済活動を実施します。
 - ・製品のラベルやパッケージ、店頭で使用する包装材や買い物袋について、原則として現状よりもより環境に配慮した原料を使用していきます。(例：環境に配慮した紙の使用、再利用可能な袋の利用)
 - ・輸送用段ボールは、原則として再利用可能なものを用い、物流業務効率化によって使用量を削減しています。
 - ・社内のペーパーレス化を進め、環境への負荷を減らしていきます。

腐敗防止

以下の枠内に、腐敗防止の分野において貴社が行ってきた取り組みについて記載してください。

1. 取引先との契約書は、腐敗防止・倫理的行動を意識した、公平かつ公正な内容で締結します。
 - ・全ての取引先との事業上の契約書は、公平かつ公正な内容である事を確認した上で締結いたします。

3. 結果の測定

以下の枠内に、結果を測定する指標として適切なものを記載してください。

1. UCHINOブランドの製品に使用する、サステナブルコットンの比率。2030年までに100%を達成する。
 - ・20年実績(6月~12月)としましては、45.8%の構成比。21年実績(1月~11月)は29.2%のサステナブルコットン比率となります。45.8%から29.2%とダウンしておりますが、中身を見るとアメリカ綿/オーストラリア綿を使用している商品は、11.9%⇒18.9%と増加しており、BCIとしての仕入減が要因となります。BCI対象商品は増加しておりますが、BCI対象とした場合の原価UPの調整が出来次第、BCIでの発注になりますので、この数字は上がっていくと思われれます。
2. 被災や疾病などに苦しむ人々への支援の継続。毎年、支援結果を報告する。
 - ・阪神大震災・東日本大震災などの地震や、台風などの被災地へ向けた製品の寄付は、2020年4月までの累計で、44,926枚に上る。2020年は、7月に発生した九州豪雨災害で、熊本県の人吉市・八代市・玉名市の各被災地にタオルを寄贈しました。また、がん患者やその家族を支援する、岩手県盛岡市の「岩手ホスピスの会」に、当社で製造するタオル帽の寄付を毎年行っており、2021年7月に200個、2021年12月に333個(入荷出来次第発送)の寄贈を行いました。